

# はじめに

「関のまちづくりと交通」ワーキング会 主査 本多 義明  
(福井大学名誉教授、(財)地域環境研究所 理事長)

今日、地球温暖化対策としては公共交通が効果的であること、さらに地域の活性化には公共交通が重要であることが国民的な認識となりつつある。関市においては、合併により広域的な市内交通の確保と将来の都市形成から、主に岐阜市との都市間交通の確保が大きな課題となっている。その際、岐阜県の経済、環境対策、観光振興、福祉対策から岐阜市との都市間輸送を確保するためには、軌道によるLRTの導入が効果的であると考えられる。

国土交通省等は道路財源を公共交通へ投資したい意向と大きな事業を遂行したい意向が強く、平成20年度活性化事案を募集している。さらに、岐阜市では交通再生会議が開催され、公共交通の整備が進むことが期待されている。

軌道系交通の復権は単に現状の課題に対処するだけでなく、将来を見越した交通政策としての「未来価値」を持つものである。以上の点を研究するために設立された「関のまちづくりと交通」のワーキング会での討論をまとめたものが本報告である。報告では2章では2月に行ったシンポジウムの要約を3、4、5章では記名入りの原稿を掲載している。

軌道系交通による関市の未来が関市公共交通活性化協議会で展開されることを期待する。

## ○ワーキング会メンバー

主査	本多 義明	福井大学 特任教授
副査	二宮 年久	(株) トーニチコンサルタント
	伊豆原 浩二	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部 教授
	嶋田 喜昭	大同工業大学 工学部 准教授
	菊池 貢司	(株) トーニチコンサルタント
	植原 亮秀	(株) トーニチコンサルタント
オブザーバー	浅野 欽一郎	関市まちづくり協議会 会長
	三輪 智成	(株) サン・ストラッセ
	加藤 源一郎	関市市長公室企画政策課課長補佐・政策審議室長
事務局	村松 俊明	(財) 地域環境研究所 事務局長

## ○ワーキング会開催記録

①第1回ワーキング会	平成19年12月21日(金)
②第2回ワーキング会	平成20年1月18日(金)
③第3回ワーキング会	平成20年3月14日(金)
④第4回ワーキング会	平成20年4月11日(金)